

九州中のチームが集い熱戦を繰り広げる



桜舞館ジュニアソフトボールクラブの攻撃



瀬高ジュニアソフトボールクラブの守備

8月20日から21日にかけて、高田農村運動広場と高田中学校グラウンドでレインボー九州少年ソフトボール大会が開催されました。42チームが参加し、各チーム一丸となってボールに食らいつき、熱戦を繰り広げました。

- ▶優勝＝三宅イーグルス(福岡県福岡市) ▶準優勝＝汐見ソフトボールスポーツ少年団(鹿児島県いちき串木野市)
- ▶3位＝羽山台少年ソフトボールクラブ(福岡県大牟田市)、喜入至誠ソフトボールスポーツ少年団(鹿児島県鹿児島市)

地域の防火・防災に尽力



8月2日、市防災協会副会長の小宮浩義さん(写真中央)が安全功労者総務大臣表彰の受賞を報告しました。小宮さんは19年間防災協会役員として、地域防災力の向上に貢献。報告に際し、「今後も防火防災を呼びかけ、安全安心なまちづくりに尽力したいです」と話しました。

矢部川の流れを楽しむ



8月6日、江浦・岩田・二川放課後児童クラブが3年生合同合宿体験活動としてカヌー体験を行いました。参加した24人の児童たちは、瀬高橋下流でカヌーを操縦し、慣れない操作に戸惑いながらも普段見ることのできない川面からの景色を楽しみました。

元プロ野球選手から直接指導



8月9日、高田中学校グラウンドで福岡ソフトバンクホークスOBたちが中学生に野球を教える「筑後七国中学生野球教室」が行われました。講師は同球団OBの帆定和幸さん、東方伸友さん、日暮矢麻人さん。市内中学校の野球部員約60人に捕球後の送球の仕方などを助言しました。

空手(組手の部)で全国大会に出場



8月16日、真流流 空真会の選手たちが、来年の全日本硬式空手道選手権大会への出場を教育長に報告しました。出場選手＝花島淳心さん(瀬高保育園年長)、田中遙郁さん(瀬高小1年)、藤木穂華さん(瀬高小3年)、高口七望さん(南小4年)、藤木里依咲さん(瀬高小5年)。

筑後広域公園のフィットネスエリアが全面オープン



7月23日、県営筑後広域公園のフィットネスエリアの全面オープンに伴い、記念式典が行われました。今回新たに、屋根付大広場と芝生広場、遊具広場などがオープンしました。式典では生嶋亮介副知事が「幅広い世代が楽しめるエリア。さらに魅力的な公園にしていきたい」とあいさつし、瀬高保育園の園児が鼓笛隊の演奏を披露。式典終了後は記念イベントとして、サップの体験会やプロスケーターによるデモンストレーション、フードイベントなどが行われました。

無病息災を願って



7月21日から25日にかけて、上庄八坂神社で祇園祭が行われました。24日正午から翌25日正午にかけて行われた大人形祭では、今年は右に源義家、左に安倍貞任が奉納されました。この人形の股をくぐると無病息災にご利益があるといわれ、たくさんの人が神社を訪れました。

100歳平泳ぎで全国大会に出場



8月8日、山川中学校1年の田中珀娃さんが、令和4年度全国中学校体育大会水泳競技大会への出場を報告しました。田中さんは100歳平泳ぎで福岡県大会、九州大会で優勝。「みんなの期待に応えられるように頑張りたいです」と抱負を述べました。

命を守る住宅用火災警報器



8月4日、みやま市防災協会から市社会福祉協議会へ住宅用火災警報器が贈られました。火災発生時の『逃げ遅れ』を防ぐことを目的に平成21年から行われているものです。今年度は30個が寄贈され、ひとり暮らしの高齢者世帯などに設置されます。

山門高校生がマイナカードを学ぶ



7月22日、山門高校1・2年生約230人に、行政のデジタル化の基盤となる「マイナンバー」について、出前授業が行われました。市に派遣されている地域活性化起業者(デジタル専門人材)が講師を務め、「マイナンバーカードはデジタル社会のパスポートです」と伝えました。